

ジャパンパック ドラム缶代用型開発 段ボール 鋼材高に対応

ジャパンパック（滑川市北野、長田宏泰社長）は、ドラム缶の代用品として利用できる機能性段ボール「NパックDRUM」を開発した。他社製品のように特殊な段ボールでなく、一般的な段ボールだけを使うため低価格で提供できる。十月ごろをめどに市場投入する。

ドラム缶は材料の鋼材が高騰しており、使用後の廃棄処理が困難なため、環境保護に対応した代用容器のニーズが高まっている。

超強化三層段ボールなどを使った他社製品があるものの、高価で普及していないのが実情だった。

NパックDRUMは、同社が開発した金属缶の代用段ボール「Nパック」の改良品で、高さ九十センチの折りたたみ式。六角柱の段ボールの内側にポリエチレンの袋を取り付けた。段ボールと袋の接着方法を工夫し、最大二百リットルの液体を入れても内部の水圧は分散する。段ボールの変形を防ぐとともに、段積みした場合の強度を増した。底面に摩擦が少なくなるフィルムを張り、移動させやすくした。

同社はNパックDRUMを一個四千円前後で販売する方針。既に大手自動車メーカーから引き合いがあり、市場投入後が月産三千個を見込んでいます。

ジャパンパック

ドラム缶代用型開発

段ボール 鋼材高に対応

ジャパンパック（滑川市北野、長田宏泰社長）は、ドラム缶の代用品として利用できる機能性段ボール「NパックDRUM」を開発した。他社製品のように特殊な段ボールでなく、一般的な段ボールだけを使うため低価格で提供できる。十月ごろをめどに市場投入する。

ドラム缶は材料の鋼材が高騰しており、使用後の廃棄処理が困難なため、環境保護に対応した代用容器のニーズが高まっている。

超強化三層段ボールなどを使った他社製品があるもの



ドラム缶の代用品として開発した機能性段ボール「NパックDRUM」

移動させやすくした。同社はNパックDRUMを

一個四千円前後で販売する方針。既に大手自動車メーカーから引き合いがあり、市場投入後は月産三千個を見込んでいます。